

秋も好き そして それから 静岡の地酒も  
**静岡県地酒まつり IN TOKYO 2011**

日本酒ファン待望の人気イベント。大震災被災蔵へのチャリティ企画も



静岡県酒造組合が主催する首都圏向けの試飲イベント『静岡県地酒まつり in Tokyo』が、9月4日の午後1時半から、港区高輪の品川プリンスホテルで開催され、県内19の蔵元が、およそ900人の参加者に自慢の日本酒をサービス。また、東日本大震災で被災した蔵元への義援金を募る「蔵元グッズのチャリティ販売」も行なわれ、復興を手助けしたいという人々でにぎわいました。





## ● 酒造期を前に、蔵元と日本酒ファンが交流



毎年、秋の酒造期スタートを前に、静岡の地酒を首都圏の日本酒ファンにお披露目して、蔵元と日本酒ファンの交流を深めようという『静岡県地酒まつり in Tokyo』。今年で第 14 回を迎える人気イベントです。静岡県酒造組合は、今回の企画について「東日本大震災で蔵元が大変な被害を受けた。少しでも力になればと思ってチャリティセールを企画しました」と説明しています。

## ● 日本酒の絆のために！



土井会長

イベントでは、まず土井会長（左の写真）が開会の挨拶。「静岡のお酒は、ひとつひとつが個性豊かで飲み飽きしない酒。今日はゆっくりと味わって、ぜひ感想を聞かせてください」と述べた後、「日本酒の絆のために！」と復興への祈りを込めて、乾杯の杯を掲げました。

## ● 珍しい酒蔵グッズを集めてチャリティ販売



爛徳利も

チャリティコーナーには、こうじ蓋、通い袋、前掛け、といった酒蔵グッズがズラリ。いずれも出展 19 蔵がこの日のために持ち寄ったもので、中にはもろみを混ぜる櫛などの珍しい道具もあって、興味津々参加者が次々と購入。イベント終了後、売上金全額が、地元静岡のイベントで集った分と合わせて、被災地に送られました。

## ● お楽しみ抽選会も人気



当たったあ！

会場の一画には、静岡県初のオリジナル酒米「誉富士」で造った日本酒を集めたコーナーも設けられ、参加者は、静岡特産・鰻飯などの料理や静岡茶のサービスと共に、バラエティあふれる静岡地酒の試飲を堪能。また、入口受付のそばでは、吟醸酒や、静岡茶、メロンなどが当たるお楽しみ抽選会も実施され、会場の周りには「メロン当りました」「やった、やった」といった歓声が飛び交っていました。



県内 19 の蔵元が参加



土井会長の発声で乾杯



売行き好調



「誉富士」のお酒にも人だかり